

2015年度版

環境報告書

(2015年4月~2016年3月のまとめ)



とちぎ"コープ"

食卓を笑顔に、地域を豊かに。

理念

CO-OP ともに はぐくむ 暮らしと未来

私たちは、一人ひとりが手を取りあって、
一つひとつの暮らしの願いを実現します。
私たちは、ものと心の豊かさが調和し、
安心してらせるまちづくりに貢献します。
私たちは、人と自然が共生する社会と
平和な未来を追求します。

環境方針

とちぎコープは、「環境に配慮した暮らし」と「持続可能な循環型社会の実現」を目指して、コープネットグループの共通の理念とビジョンのもと、店舗・宅配における商品の供給及び取り扱う商品・サービスのあらゆる面で地球環境に配慮して行動します。

事業活動を通じ環境負荷を低減する仕組みをつくり、定期的な見直しと環境マネジメントシステムの継続的な改善によって、地球環境保全と汚染の予防につとめます。

また、環境保全に関する法規制およびとちぎコープが受け入れを決めた事項を順守します。

1. 地球温暖化防止につながるCO₂削減に取り組みます。
2. 廃棄物の削減と再資源化をすすめます。
3. 組合員とともに環境活動に取り組みます。

とちぎコープ生活協同組合
専務理事 中田 和良

2015年度の取り組み

環境方針（1）

とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出の削減。

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は、人類の生存に関わる問題とされています。とちぎコープは、日本生協連の呼びかけのもとコープネット事業連合とともに「温暖化防止自主行動計画」を作成し、2020年度の二酸化炭素の排出量を基準年（2005年度）の5313トンから15%削減し、4516トンにする目標を掲げています。

今年度の二酸化炭素の排出量は4708トンで、今年度の目標を約90トン下回る計画比98.0%で達成しました。

とちぎコープの事業活動における二酸化炭素の排出は、電気使用由来によるものが約7割と車輛燃料由来によるものが約3割で、ほとんどを占める構成となっています。2015年度も電気の使用量削減と燃料使用量削減の2項目を環境目標に設定して取り組みました。

電気使用量削減対策では、店舗や事務所の照明をLED化し、店舗の改装時には高効率の冷凍冷蔵庫の入れ替えや、冷気が逃げないリーチインショーケースを導入しました。また西那須野センターと壬生センターに続き新設の芳賀センターにも太陽光発電装置を設置し、発電した全量を自家消費することで、購入する電力を削減しました。電力使用による二酸化炭素排出量は前年度から163トン削減できました。

車輛燃料による二酸化炭素排出量はBDF車両の減少や、夕食宅配の全事業所展開による増加要因がありましたが、配送コースの見直しやエコドライブの推進により計画を達成できました。

【目的】2020年度のとちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出量を2005年度対比85.0%以下にします。

【2015年度目標】とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を4,804.3トン以下にします。

【個別目標1】電気使用由来の二酸化炭素排出を3,217.8トンにします。

【個別目標2】車輛燃料由来の二酸化炭素排出を1,535.1トンにします。

	実績（トン）	計画（トン）	計画比	評価
全体	4,708.2	4,804.3	98.0%	○
電気	3,193.4	3,217.8	99.2%	○
車輛燃料	1,470.2	1,535.1	95.8%	○
LPG	35.4	39.1	90.5%	○
灯油	9.3	12.3	75.6%	○

○ 二酸化炭素排出量の推移 CO₂ (トン) 電気のCO₂ 排出係数 0.423kg/kWh

主要な排出項目	2005年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
電気	3,833	3,591	3,533	3,356	3,193
車輛燃料	1,365	1,197	1,288	1,401	1,470
LPG (事業所用)	97	78	55	39	35
灯油	17	19	17	12	9
合計	5,313	4,885	4,892	4,808	4,708

○ 電気使用量の推移 単位 kWh

	2005年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
店舗	7,669,956	6,128,652	6,008,186	5,598,556	5,278,823
デリ宅配	1,072,422	2,213,100	2,208,280	2,207,318	2,148,517
本部	319,449	147,294	135,218	125,779	116,809

店舗では節電対策や閉店・改装により電気使用量を減らしています。デリ宅配センターではドライアイスの代わりに冷凍蓄冷材凍結庫を導入したことにより基準年より増加しています。本部はコープネット事業連合に業務委託し、人員を削減したために減少しました。

○ 車輛燃料使用量の推移 単位 L

燃料種別	2005年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
ガソリン	59,568	96,053	115,896	152,964	159,301
LPG	59,364	0	0	0	0
軽油	429,510	371,027	388,132	398,634	419,335
BDF	0	108,537	78,224	52,050	37,440

車両燃料は夕食宅配の拡大によってガソリンの使用量が増えています。2008年から導入した、バイオディーゼル燃料は新型車輛で不具合が発生したため、リースアップ時に軽油車両に切り替えをしているため使用量が減っています。バイオディーゼル燃料を使用する車輛は2016年3月末で23台となっています。

エコドライブの実践で燃費の向上に、地図システムを活用した配送コースの見直しによって走行距離の短縮に努めています。

環境方針 (2) 廃棄物の削減と再資源化

【目的】 廃棄物の削減と再資源化を進めます。

【2015年度目標】 事業系一般廃棄物を前年比0.5%減らします。

※ (宅配102.0%、SM 現状維持、ミニ 89.9%、本部 現状維持)

	実績 (Kg)	計画 (kg)	計画比	評価
全体	145,849	141,408	103.1%	×
宅配	31,814	32,020	99.4%	○
SM	101,460	95,710	106.0%	×
ミニ	11,265	12,388	90.9%	○
本部	1,310	1,290	101.6%	×

とちぎコープ全体では計画を達成できませんでした。コープデリ宅配センターでは排出量を削減できましたが、SM店では供給高が上がったため廃棄物の排出量も増えてしまいました。

【事業から排出する廃棄物の発生の抑制とリサイクル活動を推進します】

単位:トン	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
魚腸骨	35.5	30.0	32.7	37.0	41.3	44.3
廃食用油	12.3	11.7	11.7	12.4	15.5	14.8
生ゴミ	104.5	117.0	123.1	103.4	102.9	118.0
魚箱	7.9	8.2	7.1	6.4	7.5	7.0
ダンボール	341.3	386.0	377.4	368.1	394.6	407.9

事業の伸張とともに発生量が増加傾向にありますが、基本的に全量をリサイクルしています。食品廃棄物では、魚腸骨は家畜の飼料に、廃食用油はインクや飼料・BDFなどに、リサイクル利用されています。生ゴミから作られたたい肥で育てた野菜を越戸店で販売する「リサイクルループ」を行っています。

【レジ袋を削減します。】

店舗では栃木県との協定を締結し、全店でレジ袋を有料化しています。マイバッグ持参の取り組みを進め、持参率は82.7%になりました。レジ袋の販売代金の一部はNPO法人足尾に緑をそだてる会に、植樹の苗木代として寄付しました。

環境方針（3）組合員とともに環境活動に取り組みます

【目的】環境活動に参加する組合員を増やします。

【2015年度目標】リサイクル品の回収量を2014年実績に対し5%増やします。

【組合員さん参加のリサイクル】

項目	当年度 (kg)	前年度 (kg)	前年度比	評価	
回収量合計	2,236,704	2,093,364	106.8%	○	
内訳	ペットボトル	43,701	41,192	106.1%	↑
	トレイ	8,153	8,014	101.7%	↑
	資源紙	2,097,038	1,953,943	107.3%	↑
	紙パック	5,998	49,932	99.5%	↓
	アルミ缶	7,627	7,103	107.4%	↑
	卵パック	5,998	8,168	73.4%	↓
	シッパー内袋	24,526	25,012	98.1%	↓

コープデリ宅配ではリサイクルの案内チラシを2回配布し、また担当者ニュース等でもお知らせを強化しました。ペットボトルとハピデリなどの商品チラシの回収量が増えて合計で前年比6.8%増となりました。

【その他の環境活動】

組合員さんを対象にした「環境に関するアンケート」を実施し、7811件の回答をいただきました。集計結果を報告するとともに今後の環境保全活動の参考にさせていただきます。

した。足利ブロックでは田んぼの学校を開催し、のべ50家族170名が参加しました。NPO法人「名草里山の会」とともに農業体験や自然観察を行い、環境や自然の循環、食育について学びました。また今年度初の企画となる「我が家のグリーンカーテンフォトコンテスト」には43名の組合員さんから応募をいただきました。

「ECOテック&ライフとちぎ2015」「エコ・もりフェア2015」に出展し、環境クイズや環境配慮商品の展示などを行いました。栃木店とおもちゃのまち店でどんぐりや木の枝を使って置物などを作るネイチャークラフト（自然工作教室）を開催しました。

その他の主要パフォーマンス項目の進捗状況

【環境配慮商品の普及】 環境に配慮した商品の取り扱いの拡大、情報提供の強化、ご利用の拡大を推進します。

組合員のみなさんに、積極的に環境に配慮した商品を提供すること、及び、それらの商品や環境に関する情報を提供することなどを、とちぎコープの事業活動において、環境に有益な影響を及ぼす課題として取り組みをすすめました。

	当年度	前年度	前年度比	増減
点数（点）	1,070,199	940,597	113.8%	↑
金額(千円)	369,093	342,166	107.9%	↑

対象商品：①日生協「環境配慮商品」（環境に配慮した食品含む）、②日生協「ちょこっとエコ商品」、③エコマーク商品、④グリーンマーク商品、⑤再生紙Rマーク商品、⑥PETボトルリサイクル推進協議会マーク、⑦飲料品紙容器マーク商品、⑧JAS有機農産物表示と特別栽培農産物に関わる表示ガイドラインに基づき生産された農産物、⑨上記以外の環境配慮商品（コープネット環境配慮商品、無洗米などでコープネットで認定したもの）⑩カーボンフットプリント商品

【グリーン購入】資源や資材の無駄な使用をなくし、使用する資材は積極的にグリーン購入を進めます。

	2013年度	2014年度	2015年度	評価
購入率	88.1%	92.0%	98.1%	↑

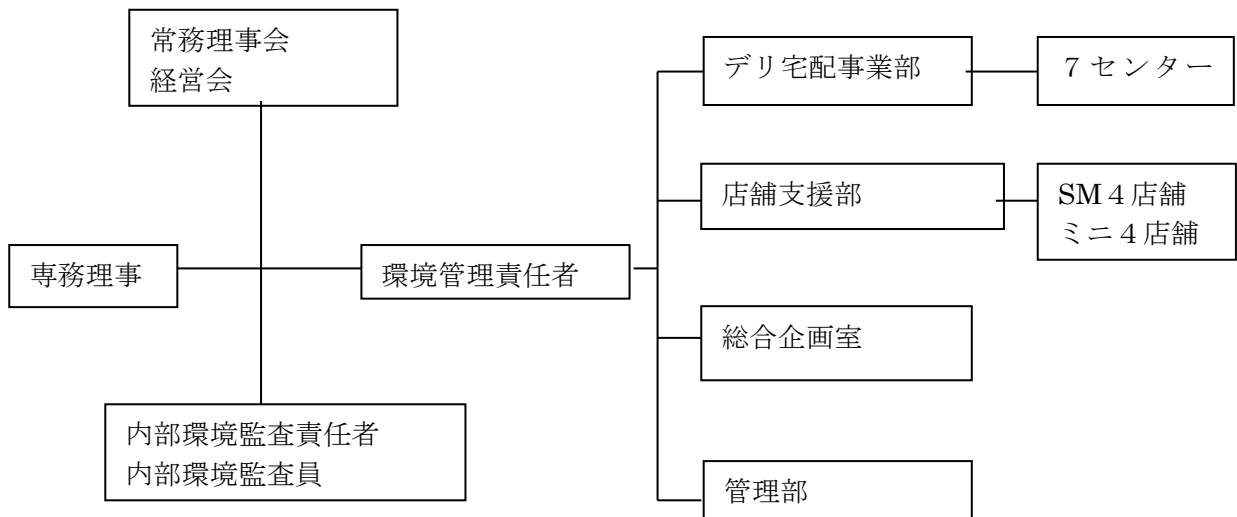
事務用品や文具、事務所等での消耗品を購入する場合には環境に配慮した環境ラベルなどが張ってある商品を積極的に選択するグリーン購入に努めています。グリーン商品を対象としたグリーン購入比率が90%を超える状況となったので、この状態を維持できるよう確実に運用管理していきます。

環境マネジメントシステムに関すること

環境マネジメントシステムを本来業務システムの一環として推進しています。

【環境管理体制】

環境マネジメントシステムも事業経営の一部であるとの考えから、環境マネジメントの体制を業務のマネジメントの体制と一致させています。



※本部棟の事務所機能を含む

【従事者の教育・訓練】

とちぎコープEMSガイドブック2015年版を作成し、定期教育を実施しました。7月末までに全事業所で終了しました。また、3月28日には特定非営利活動法人気候ネットワーク東京事務所長の桃井 貴子氏を講師にお迎えし「気候変動の危機を私たちは乗り越えられる？」～クライメート・アクション・ナウ！～をテーマにした学習会を開催し、職員220名が参加しました。地球温暖化の世界的な取り組み状況や日本の取り組みなどをわかりやすくご説明いただき、99%の人が理解が深まった・少し深まったとアンケートで回答していました。

【コミュニケーション】

組合員のみなさんのご意見・ご要望は、「組合員の声」担当部局が中心に管理しています。業務に関連するものはそれぞれの担当部局、環境が中心のものについては環境マネジメント事務局が対応し、回答が必要なものについてはすべて回答しています。

2015年度は、行政等への報告や、住民へのお知らせが必要となる重大な事故はありませんでした。

【内部環境監査】

3名の内部環境監査員を新規に任命し、総数36名で18部署の監査を実施しました。重大な不適合および軽微な不適合はありませんでした。観察指摘は16件(前年10件)についてはそれぞれ是正処置および是正項目の有効性を確認しました。推奨指摘は4件(前年7件)、プラス評価が7件(前年14件)ありマネジメントシステムの改善につながっています。

【法令の監視と順守状況】

日本生協連の「環境ニュースレター」や、法令関係のホームページにより情報を入手し、新しい法律や、法令の改定を監視しています。県・自治体の条例については、ホームページや担当職員へのヒアリング等を通じて、最新情報の把握に努めています。

浄化槽の管理や廃棄物の保管・処理など、日常の管理が必要なものについては、月々の進捗管理の中で実施状況を管理しています。産業廃棄物マニフェストは、産業廃棄物排出事業所で発行し、発行後は総務と環境マネジメント事務局で管理しています。容器包装リサイクル法については、指定法人と再商品化委託契約を結んで対応しています。食品リサイクル法および省エネ法の定期報告を行っています。その他の法令・条例およびその他の要求事項についての順守状況については、毎月の経営会で報告し不適合が無かったことが確認されています。

【とちぎコープの概要】

(2016年3月現在)

理事長	古口 葉子
組合員数	242, 258人
出資金	70億5452万円
事業高	270億7783万円
職員数	正規271人、 定時671人

事業所

- 配送センター 7ヶ所
 - 西那須野センター (那須塩原市)
 - 芳賀センター (芳賀町)
 - 今市センター (日光市)
 - 宇都宮センター (宇都宮市)
 - 壬生センター (壬生町)
 - 小山センター (小山市)
 - 足利センター (足利市)
- ミニコープ 4店舗
 - コープ矢板店 (矢板市)
 - コープ城東店 (小山市)
 - コープ野木店 (野木町)
 - コープ富岡店 (佐野市)

※売り場面積50坪タイプの小型店
- スーパーマーケット (SM店) 4店舗
 - コープ越戸店 (宇都宮市)
 - コープ鶴田店 (宇都宮市)
 - コープおもちゃのまち店 (壬生町)
 - コープ栃木店 (栃木市)

※生協直営の売場面積450坪タイプのスーパーマーケット
- とちぎコープ本部 (宇都宮市)

発行日 2016年10月21日

とちぎコープ生活協同組合

環境管理責任者 黒須 正文

〒321-0195 栃木県宇都宮市川田町 858

T e l (028) 634-5115 F a x (028) 634-5114